

【教科名】 社会科

(1) 目指すもの

地理歴史分野・公民的分野の基本的な学習を大切にしながら、さらに幅広い社会科の素養を身につけます。「暗記」することのみが本校の社会科学学習ではありません。一人ひとりの生徒の進路希望に対応できる学力づくりに留意しつつ、社会的諸現象の背景・影響などを、その年齢に応じて多角的に分析できる力、批判できる力、まとめ発表する力を育成することを目標にしています。身の回りの社会の様子、出来事、歴史などについてのリサーチとレポートと発表、課題図書での研究など、多彩なプログラムを用意しています。「研修旅行」などの行事も社会科の学びの場です。キリスト教の精神を礎に、平和の尊さについても考え、心も豊かになる社会科学学習を目指しています。

(2) 授業の進め方

中1と中2で地理と歴史、中3で歴史と公民分野の基本的な知識を習得します。

高1では歴史総合と公共を学び、高2では、文系コースの生徒は地理総合学ぶこととなります。そして高2文系では、世界史探究・日本史探究のいずれかを選択し、歴史分野を深く学んでいきます。

高3となりますと、文系受験コースの生徒は社会科選択として、世界史・日本史・政治経済から1科目を選択、基礎から応用まで受験に対応する内容を学びます。高3で推薦コースの生徒は、地理探求と政治経済を学び、社会的知識・教養を広く身につけます。さらに選択科目として、受験にも対応した世界史・日本史・政治経済の特講科目を用意しています。高3理系受験コースの生徒は、高3で地理総合を学ぶようにしています。

(3) 使用教材について

教科書・資料集などの他に、適宜プリントやビデオ教材なども用いて授業を展開していきます。また、受験コースでは大学入試問題の演習もおこないます。

指定された課題図書を読みレポートを課すこともあります。

<中学>

- 中1：『社会科 中学生の地理』（帝国書院）、『中学校社会科地図』（帝国書院）
『中学社会 歴史 未来をひらく』（教育出版） 『学び考える歴史 東京都版』（浜島書店）
- 中2：『社会科 中学生の地理』（帝国書院）、『中学校社会科地図』（帝国書院）
『中学社会歴史 未来をひらく』（教育出版）、『学び考える歴史 東京都版』（浜島書店）
- 中3：『中学社会 公民的分野』（日本文教出版）、『新しい公民』（浜島書店）

<高校>

- 高1：歴史総合 『詳述 歴史総合』（実教出版） 公共 『詳述 公共』（実教出版）
- 高2：世界史探究 『世界史探究』（東京書籍） 日本史探究 『詳説日本史 日本史探究』（山川出版社）
地理総合 『新地理総合』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）
- 高3文系：受験世界史 『世界史探究』（東京書籍）
受験日本史 『詳説日本史～日本史探究～』（山川出版社）
受験政治経済 『詳述 政治・経済』（実教出版）
- 高3推薦：政治経済 『政治・経済』（東京書籍）
地理探究 『新詳地理探究』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）
- 高3理系：地理総合 『新地理総合』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）

（上記の教科書のほかに、資料集も使用しています。）

最終到達目標			<ul style="list-style-type: none"> ・地理・歴史・公民分野の基本的な学習を大切にしながら、幅広い社会科の素養を身につける。 ・一人ひとりの生徒の進路希望に対応できる学力づくりに留意しつつ、社会的諸現象の背景・影響などを、多角的に分析できる力、批判できる力、まとめ発表する力を育成する。 			
ST	学年	コース	授業目標	主な授業内容	課題・講習・校外学習など	
第1ステージ	中学1年		<地理的分野> ・地理の基本的知識を身につける。 ・地図や統計を読む力を身につける。 ・世界人として世界の諸地域・国々についての基本的知識を身につける。 <歴史的分野> ・世界の歴史を背景に、因果関係に留意しつつ、日本の歴史の流れを理解する。	<地理> ・地図の見方 ・世界の気候区 ・世界の諸地域 <歴史> ・原始・古代・中世 ・中世から近世へ	・夏休みに「わが街」について調べ、レポートをまとめる。	
	中学2年		<地理的分野> ・日本各地の様子を知り、特色を理解する。 ・世界と日本の結びつきを理解する。 <歴史的分野> ・世界の歴史を背景に、因果関係に留意しつつ、日本の歴史の流れを理解する。	<地理> ・日本の諸地域 ・世界と日本の結びつき <歴史> ・近世の日本 ・日本の近代化と世界	・夏休みに「歴史新聞」の製作 ・2学期に校外授業「東京歴史散歩」を行い、その事前・事後学習もおこなう。 ・冬休みに「わが家の歴史」について調べる。	
第2ステージ	中学3年		<歴史的分野> ・近現代史の動きを理解し、現代社会の課題を考察する力をつける。 <公民的分野> ・社会の仕組みを学び、道徳人・実力人・世界人として幅広い資質を身につける。	<歴史> ・二度の世界大戦と日本 ・新しい日本と世界 <公民> ・私達の生活と政治 ・私達の生活と経済	・春休み課題図書レポート。 ・研修旅行（広島・京都・奈良）の事前・事後学習を行う。 ・卒業研究・発表 ・「新聞レポート」の取り組み	
	高校1年		<公共> ・現代の諸課題を追求する活動を通して、公民としての資質・能力を育成する。 <歴史総合> ・産業革命以降、2度の大戦と冷戦などの歴史的变化を考察し表現する力を養う。	<公共> ・日本国憲法と民主政治 ・現代経済と国民福祉 <歴史総合> ・近代（18世紀～20世紀）の世界の歴史	・夏休みに課題図書レポートに取り組む。	
第3ステージ	高2	理系	（開講課目なし）			
		文系	<地理総合> ・世界や日本の諸地域の生活や文化、環境、災害について考察し、世界的な諸課題への関心を高める。 <世界史探究> 2度の大戦と現代世界と古代を概観。 <日本史探究> 近現代の政治、民衆の動きと古代から室町までを概観。	<地理総合> ・世界の地形と人々の生活 ・世界の言語、宗教と人々の生活 <世界史探究> 2度の大戦と現代 古代文明～アジア各地 <日本史探究> 戦前戦後の日本 旧石器～室町	・春休み課題図書レポート ・長崎・平戸研修旅行の事前学習・事後学習をおこなう。 ・夏休みの課題レポート。	
	高3	理系	<地理総合>（高2に同じ）			・自然地理と世界地誌 ・共通テスト対策講習
		文系受験	（社会科選択）<世界史・日本史・政経> ・大学受験に対応できる学力を養成する。 （共通選択） <世界史特講・日本史特講・政経特講>	世界史：中世～現代 日本史：江戸～昭和 政経：政治・経済・国際各分野	・課題図書レポート ・大学受験対策講習	
		推薦	<地理探究>自然環境と人々の生活 <政治経済>経済と主権者教育 ・幅広い社会科の学力を身につける。	地理探究： 政経：政治・経済・国際各分野	・課題図書レポート	

年間 指導 目標	世界を構成する国々や人々の生活を大観し、地球および各国の様子を知る。 世界のそれぞれの地域ごとに国名、都市、自然、略史、産業の特色を理解する。 また、世界と日本の結びつきをさまざまな面から理解する。日本の位置や広がりとその特色を理解する。
----------------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	教科書: 『社会科 中学生の地理』 (帝国書院) 地図帳: 『中学校 社会科地図』 (帝国書院)	世界の姿	「地球、六大陸三大洋」 「国の国名、面積、人口、国旗、国境」 「緯度・経度」 「16 方位、世界地図 地球儀」 「世界の中での日本の位置」 「時差でとらえる日本の位置」
	期末		日本の姿	「日本の領域とその特色」 「都道府県と県庁所在地」 「世界のさまざまな生活と環境(=気候)」 「暑い地域の暮らし」 「乾燥した地域の暮らし」 「温暖な地域の暮らし」 「寒い地域の暮らし」 「高地の暮らし」 「世界の住居、衣服、食文化」 「宗教と生活のかかわり」
2 学期	中間		世界の諸地域	「アジア州」 (中国) (東南アジア) (南アジア) (西アジア・中央アジア)
	期末	世界の諸地域	「ヨーロッパ州」 「アフリカ州」 「北アメリカ州」	
3 学期	学年末	世界の諸地域	「アジア州」(韓国) 「南アメリカ州」 「オセアニア州」	

年間 指導 目標	歴史的事象に対する関心を高め、日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史と関連させながら理解する。原始・古代から近世社会の成立までを取り扱い、さまざまな資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察する。夏休み中の課題として「わが町の歴史」レポートを作成し、文化祭で発表する。時事的なことにも目をむけ、歴史を過去の事として考えるのではなく、現代にもつながることとして学ぶ。
----------------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学 期	中 間	教科書 『中学社会 歴史 未来をひらく』 (教育出版) 資料集 『学び考える歴史』 (浜島書店)	第1章 歴史のとらえかた・調べ方 第2章 原始・古代の日本と世界	「年代のあらわし方」「歴史のとらえかた」 1. 人類の出現と文明のおこり 「人類の誕生と広がり」 「世界各地におこる古代文明」 「ギリシャとローマの古代文明」 「旧石器時代から縄文時代へ」 2. 日本の成り立ちと倭の王権 「旧石器時代から縄文時代へ」
	期 末		第2章 原始・古代の日本と世界	「稲作とクニの始まり」 「大王の支配と渡来人」 3. 大帝国の出現と律令国家の形成 「7～8世紀の世界」 「聖徳太子の政治と飛鳥文化」 「大化の改新と大宝律令の制定」 4. 貴族社会の発展 「奈良の都と律令制下の暮らし」 「遣唐使と天平文化」
夏 休 み			実際に歴史的なできごとのあった身近な場所を訪ね、「わが町の歴史」レポートを作成することで、本から学ぶだけでなく実際に目で見たり聞いたりすることの大切さを知り、歴史に興味を持てるようにする。	
2 学 期	中 間		第2章 原始・古代の日本と世界 第3章 中世の日本と世界	「平安の都と摂関政治」 「国風文化の誕生」 1. 武家政治の始まり 「武士の発生と武士団」 「院政と平氏政権」 「武家政治の成立と展開」 「鎌倉時代の人々の暮らし」 「鎌倉文化と新しい仏教」

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
2 学 期	期 末		第3章 中世の日本と世界	2. ユーラシアの動きと武家政治の変化 「13世紀ごろのユーラシアの動き」 「元寇と鎌倉幕府の滅亡」 「南北朝の内乱と室町幕府の成立」 「東アジア世界の交流」 「琉球王国とアイヌ民族」 「産業の発展と民衆の成長」 「応仁の乱と戦国大名の出現」 「室町文化とその広まり」
			第4章 近世の日本と世界	1. 結びつく世界との出会い 「中世のヨーロッパ世界とイスラム世界」 「ルネサンスと宗教改革」 「ヨーロッパ人の大航海」 「鉄砲とキリスト教の伝来」 2. 天下統一への歩み 「織田信長と豊臣秀吉」 「豊臣秀吉の政治」 「南蛮文化と桃山文化」

年間 指導 目標	位置、範囲から日本の地域構成を大観し、日本全体の視野から様々な特色を理解する。 日本の諸地域における人々の生活及び地域の特色を理解する。 地形図の読図や使い方を理解する。 また、世界と日本の結びつきをさまざまな面から理解する。
----------------	--

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	『社会科 中学生の地理』 (帝国書院) 『中学校 社会科地図』 (帝国書院)	世界の諸地域	「北アメリカ州」
	期末		日本の地域的 特色	「山がちな日本の地形」 「川がつくる地形と海岸や海洋の特色」
2 学期	中間		日本の地域的 特色	「日本の気候」 「日本のさまざまな自然災害」 「自然災害に対する備え」 「日本の人口」 「日本の資源・エネルギーと電力」 「日本の農業・林業・漁業とその変化」 「日本の工業とその変化」 「日本の商業・サービス業、交通網・通信網」
	期末		日本の諸地域	「さまざまな地域区分」 「九州地方」 「中国・四国地方」
3 学期	学 年 末		日本の諸地域	「近畿地方」 「中部地方」 「関東地方」
			日本の諸地域	「東北地方」 「北海道地方」
			身近な地域の調査	身近な地域の調査 調査結果の発表

年間 指導 目標	<p>歴史的事象に対する関心を高め、日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史と関連させながら理解する。近世から19世紀後半までを取り扱い、近代におけるアジアと日本との関係に留意しながら、さまざまな資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察する。歴史を単に過去の出来事としてとらえるのではなく、現代にもつながる課題があることを意識して学ぶ。</p> <p>夏休み中の課題として「歴史新聞」を作成し、文化祭で発表する。</p> <p>冬休みの課題として「わが家の歴史」レポートを作成する。</p> <p>2学期に社会科行事「東京歴史散歩」を行い、東京に残る歴史を調べ、実際に現地をたどり、そこで学んだことを壁新聞にまとめる。</p>
----------------	--

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学 期	中 間	教科書 『中学社会 歴史 未来をひらく』 (教育出版)	第4章 近世の日本と世界	1. 結びつく世界との出会い 「中世のヨーロッパ世界とイスラム世界」 「ルネサンスと宗教改革」 「ヨーロッパ人の大航海」 「鉄砲とキリスト教の伝来」
	期 末	資料集 『学び考える歴史』 (浜島書店)	第4章 近世の日本と世界	2. 天下統一への歩み 「織田信長と豊臣秀吉」 「豊臣秀吉の政治」 「南蛮文化と桃山文化」 3. 幕藩体制の確立と鎖国 「江戸幕府の成立と幕藩体制」 「キリスト教と海外への行き来の禁止」 「江戸時代の国際関係」 「琉球王国とアイヌの人たちへの支配」 「江戸時代の身分制度」
夏 休 み			課題「歴史新聞」 日本や世界で起きた出来事について、各自がその時代の記者として記事を書く。新聞紙を取っている家庭が以前よりも減少していることをふまえて事前の説明を丁寧に行う。	
2 学 期	中 間		第4章 近世の日本と世界 * 社会科郊外授業 「東京歴史散歩」	4. 経済の成長と幕政委の改革 「経済の発達と都市の繁栄」 「元禄文化と暮らしの変化」 「享保の改革と社会の変化」 「田沼の政治と完成の改革」 「外国船の接近と天保の改革」 「学問の広まりと化政文化」 * 事前学習および事後のまとめとして壁新聞制作を行う

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
2 学 期	期 末	教科書 『中学社会 歴史 未来をひらく』 (教育出版) 資料集 『学び考える歴史』 (浜島書店)	第5章 日本の近代化と国際社会	1. 近代世界の確立とアジア 「イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命」 「産業革命と資本主義」「欧米列強の成立」 「アジアの植民地化と抵抗」 2. 開国と幕政時の終わり 「ペリーの来航と開国」 「攘夷から討幕へ」 「世直しと江戸幕府の滅亡」 3. 明治維新と立憲国家への歩み 「新政府の政治方針」 「富国強兵の諸改革」
			冬休み	課題「わが家の歴史」レポート 家族や親せきへのインタビューを通じて、過去の出来事や人びとの努力を知り、現在の自分とのつながりを学ぶ。また、自分自身が生まれてからこれまでにについて振り返る。
3 学 期	学 年 末		第5章 日本の近代化と国際社会	「殖産興業と文明開化」 「新しい国際関係の確立」 「国境の画定と北海道・沖縄」 「自由民権運動と政党の誕生」 「憲法の発布と議会の開設」 「対外危機の高まりと条約改正」 「日清戦争と三国干渉」

年間指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界と日本との関係に留意しながら、近代・現代における歴史事象を考察する。 ・今日の私たちが直面する課題を把握し、その原因・背景と解決の道筋を考察する。 2学期の研修旅行に向けた事前学習、および事後のまとめを通して平和に実現について考察する。 ・政治・経済の基本的事項を学び、人間と社会の関係を学ぶ。
--------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	歴史分野 教科書: 『中学社会歴史 未来をひらく』 (教育出版)	<歴史> 二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と民族独立の動き 大正デモクラシー
			<地理> 日本の諸地域 <公民> ・私たちが生きる現代社会の 特色 ・法に基づく政治と日本国憲法	関東、東北、北海道地方 少子高齢化、情報化、グローバル化 持続可能な社会 憲法、法の支配
	期末	資料集: 『学び考える 歴史』 (浜島書店)	<歴史> 二度の世界大戦と日本 <研修旅行事前学習>	恐慌から戦争へ 第二次世界大戦と日本の敗戦
			<公民> ・法に基づく政治と日本国憲法 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の平和主義 <研修旅行事前学習>	日本国憲法と国民主権 基本的人権の保障 平和主義と第九条、日本の国際貢献
2 学期	中間	『中学社会 公民的分野』 (日本文教出版)	<歴史> 現代の日本と世界 <研修旅行事後学習>	日本の民主化と冷戦 世界の多極化と日本
			<公民> 日本国憲法と基本的人権 民主政治と政治参加 私たちと国際社会 <研修旅行事後学習>	国際的な人権、公共の福祉 選挙と政党 国際連合、軍縮への取り組み
	期末	資料集: 『新しい公民』 (浜島書店)	<公民> 国の政治のしくみ	国会、内閣、裁判所
			<公民> 経済のしくみと消費生活 生産の場としての企業	経済のしくみ、消費者の権利、市場のしくみ 株式会社のしくみと企業の社会的責任 企業の競争と独占、企業活動と景気の変動
3 学期	学 年 末		<公民> 暮らしを支える地方自治 国際社会の課題 <卒業研究と発表>	地方自治のしくみ 多様化する世界
			<公民> 金融のしくみとお金の大切さ 財政と国民の福祉 <卒業研究と発表>	金融のしくみ、日本銀行と金融政策 財政のはたらき、税と国債、社会保障のしくみ

年間指導目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	教科書:『詳述 公共』(実教出版)

時期	単元・活動	学習内容	指導上の留意点
一学期中間	【第1編 公共の扉】 第4章 民主国家における基本原理 1 人権保障の発展と民主政治 【第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち】 第1章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 3 基本的人権の保障	民主主義と立憲主義が成立した歴史、社会契約説について学ぶ。 明治憲法体制を変革した日本国憲法の基本原理、個人的基本的人権の意義について学ぶ。	日本国憲法の制定過程について理解できるようにする。 日本国憲法で実現した基本的人権保障が、現代に繋がっていることを理解させ、今日の課題への関心を養う。
一学期期末	【第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち】 第1章 日本国憲法の基本的性格 3 基本的人権の保障(承前) 4 人権の広がり 第2章 日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国民生活 2 人権保障と裁判所 3 地方自治 4 選挙と政党	基本的人権保障の各分野について、現代世界の人権保障について学ぶ。 国民権を原理とする日本の統治機構について学ぶ。 現代の世論と政治参加について学ぶ。	現代の人権問題について主体的な関心を養う。 日本の統治機構の学習を通して、民主主義を深める工夫を理解させる。 今日の選挙制度と政党政治への関心を養い、政治参加に不可欠な情報収集を知る。
夏期	*読書課題	持続可能な社会づくりの主体となるため、諸分野からの書物に取り組む。	レポートの基本的な書き方を身に付けられるようにする。
二学期中間	【第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち】 第3章 現代の経済社会 1 経済社会の形成と変容 2 市場のしくみ 3 現代の企業 6 政府の役割と財政・租税 第4章 計座活動のあり方と国民福祉 1 日本経済の歩みと近年の課題 4 消費者問題 5 労働問題と雇用 6 社会保障	資本主義経済の歴史的形成について学ぶ。 市場メカニズムの機能とその限界、財政の役割について学ぶ。 消費者の権利と責任、雇用と労働、少子高齢社会における社会保障など現代社会の諸問題を学ぶ。	経済社会のあり方が社会全体に与える影響の大きさを理解できるよう配慮する。 市場メカニズムの意義を理解した上で、市場の限界を理解させ、政府が調整する必要性を理解できるようにする プレゼンの準備などを通して協働して学習する態度を養う。

時期	単元・活動	学習内容	指導上の留意点
二学期期末	<p>【第 2 編 よりよい社会の形成に参加する私たち】</p> <p>第1章 日本国憲法の基本的性格</p> <p>2 平和主義とわが国の安全</p> <p>第5章 国際政治の動向と課題</p> <p>1 国際社会における政治と法</p> <p>2 国家安全保障と国際連合</p> <p>3 冷戦終結後の国際政治</p> <p>第 6 章 国際経済の動向と課題</p> <p>1 国際経済のしくみ</p> <p>2 国際経済体制の変化</p> <p>3 経済のグローバル化と金融危機</p>	<p>現代世界における国際秩序・平和の維持についての課題を学ぶ。国連の働きと国際社会の多元化について学ぶ。</p> <p>グローバル化により世界経済がより緊密に結び付き、相互依存関係が一層深まっていることを学ぶ。</p>	<p>現代世界の平和を妨げている要因について理解できるようにし、日本の平和主義について学ぶ。</p> <p>国際通貨・貿易体制の学びを通して現在の国際経済の状況を理解させる。</p>
三学期学年末	<p>【第1編 公共の扉】</p> <p>第2章 人間とよく生きる</p> <p>1 ギリシアの思想</p> <p>2 宗教の教え</p> <p>3 人間の尊重</p> <p>4 人間の自由と尊厳</p> <p>5 個人と社会</p> <p>6 主体性の確立</p> <p>7 他者の尊重</p> <p>8 公正な社会</p> <p>第3章 民主社会の倫理</p> <p>1 人間の尊厳と平等</p> <p>2 自由・権利と責任・義務</p> <p>(高校2年長崎研修旅行事前学習)</p>	<p>哲学・思想の歴史のアウトラインを学び、現代における諸問題を倫理・思想の背景の下で考える力を養う。</p> <p>自らテーマを発見し、主体的に探究する活動を行う。</p>	<p>一人一人が個人として尊重されるべき存在であることを理解させる。</p> <p>現代社会の公共性をめぐる諸問題について、歴史的背景ももとに理解できるようにする。</p>

年間指導目標	世界史上の国際秩序の変化や大衆化、2度に渡る世界大戦と冷戦などの歴史的变化を、近代から今日のグローバル化した世界に至る経過を考察し、表現する力を育成する。
使用教材	教科書：『詳述歴史総合』(実教出版) 副教材：『新詳歴史総合』(浜島書店)

学期	時期	単元(章)	学習内容	指導上の留意点
1 学期	中間	第2章 産業革命と市民革命 国民国家の形成	18～19世紀の産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界市場の形成、欧米の市民革命や国民統合の動向を学び、立憲体制と国民国家の形成を学ぶ。また、国民国家の形成の背景や欧米諸国の動向を比較し、政治変革の特徴と社会の変容を学ぶ。	18～19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動きと、イギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化と市民革命に関する基本的な知識を理解させる。
	期末	第3章 アジアの変容 日本の近代化	また、日本の開国と明治維新や大日本帝国憲法の制定などを、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向と関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を学ぶ。また、日本の近代化をアジア諸国とその他の国や地域の動向と比較しながら学ぶ。	19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応を歴史的なものの見方・考え方に基づいて理解させる。また19世紀の日本やアジアに進出した欧米諸国とそれに対する日本とアジア諸国の対応を理解させる。
2 学期	中間	第4章 帝国主義と世界分割 日清・日露戦争	また、列強の進出と植民地の形成、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを学ぶ。また、日清・日露戦争を基に、列強の帝国主義政策を学ぶ。	また帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係を、歴史的な背景に着目しながら理解させる。また、日清・日露戦争に至る歴史的経過と基本的な知識を、複数の史・資料をもとに理解させる。
	期末	第5章 第一次世界大戦 大衆社会の到来	第一次世界大戦の展開と日本の経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立など、第一次世界大戦後の国際体制を学ぶ。また、大正デモクラシーと政党政治、マスメディアの発達を基に大衆社会の形成と社会運動の広がりを学ぶ。	また第一次世界大戦の背景と、大戦をきっかけとする国際関係の変化や各国の社会の形成過程を理解させる。また、第一次世界大戦をきっかけとした国際関係と日本社会の変化を理解させる。
3 学期	学 年 末	第6章 経済危機と第二次世界大戦 第7章～9章 グローバル化する世界	恐慌の時代と第二次世界大戦の展開、戦後の国際連合成立、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、日本の戦後改革と日本国憲法の制定、国際社会への復帰の過程を学ぶ。また今日の国際秩序の形成と第三世界の国々の台頭、地域紛争の拡散など、日本とその他の国や地域における政治・経済的課題を学ぶ。	世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化を理解させる。さらに冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きと石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きと地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化を理解させる。

年間指導目標	昨年度の「歴史総合」の学習範囲と連結するため昭和から平成までの近現代史を政治・民衆の動き、世界情勢との関係に留意しながら学ぶ。1学期後半から原始・古代からの学習に移り、室町時代までの通史を歴史史料も利用しながら、大学受験に対応できるように探究学習を行う。歴史を学ぶことを通じて、現代社会について自らの考えをもつ姿勢を培うことを目標とする。
使用教材	教科書：『詳説日本史 日本史探求』（山川出版社） 図表：『新詳日本史』（浜島書店）

学期	時期	単元（章）	学習内容	指導上の留意点
1学期	中間	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> 金融恐慌と昭和恐慌 軍部の台頭 十五年戦争 占領と民主化 日本国憲法の制定 占領政策の転換 朝鮮戦争と日本 講和と安保条約 	<ul style="list-style-type: none"> 恐慌の原因と対応策を理解する。 十五年戦争における戦局の展開をまとめる。 戦後の諸改革をまとめる。 冷戦の開始による日本の占領政策の転換と朝鮮戦争、講和条約と日米安保体制成立の意義・影響について理解する。
	期末	第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第18章 激動する世界・日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の変容 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	<ul style="list-style-type: none"> 55年体制と安保闘争 高度経済成長～経済大国へ 冷戦終結～バブル経済へ 旧石器時代の社会 縄文時代の社会 弥生時代の社会 ヤマト政権と古墳文化 飛鳥の朝廷と文化 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の終結と日本社会の変容を、国際社会の変化と結びつけて理解する 旧石器時代と縄文時代の特徴を学ぶ。 稲作文化の伝播による社会の変化とヤマト政権の成立を東アジアとの関係に留意して学ぶ
2学期	中間	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治と国風文化 2 地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家への道 律令体制の動揺 天平文化・唐風文化 摂関政治・国風文化 荘園公領制の展開 武士の成長 	<ul style="list-style-type: none"> 律令政治が行われるに至る政治や文化、律令体制下の社会を東アジアの動きをふまえて学ぶ。 律令体制の動揺と摂関政治が行われた時代の社会や文化について学ぶ。 唐の影響を受けた天平文化や平安時代初期の文化と、それらを消化して成立した貴族文化を学ぶ。
	期末	第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権 第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> 院政と平氏政権 院政期の文化 鎌倉時代の政治・社会・鎌倉文化 蒙古襲来と社会の変動 	<ul style="list-style-type: none"> 院政の成立と平氏政権について、中世の始まりという観点をもちながら文化の特徴とともに学ぶ。 鎌倉時代の政治と社会の変化について、武士と庶民を担い手とする館蔵時代の文化とともに学ぶ。
3学期	学年末	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の滅亡 室町時代の政治・外交・社会 庶民の台頭・室町文化 戦国の動乱 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の滅亡から室町幕府成立の時期を通して、様々な階層の人々の要求を学ぶ。 東アジアと日本の外交・庶民の台頭と社会の変化について学ぶ。 公家と武家文化の融合、民衆への広がりや地方文化との融合によって形成された室町時代の文化を学ぶ。

年間指導目標	前年度の「歴史総合」の学習範囲と連結するため、第一次世界大戦後から第二次世界大戦までを詳細に、またその後現代世界までを概観し、国際関係を理解する力を養う。2学期からは古代の学習に移り、オリエント世界・地中海世界、西アジア・南アジア・東南アジア・東アジア世界について学び、人類の歩みを理解し、現代に影響を与える社会や文化の特色について考察できる力を養い、大学受験に対応する探究学習を行う。
使用教材	教科書：『世界史探究』（東京書籍） 図表：『グローバルワイド最新 世界史図表』（第一学習社）

学期	時期	単元（章）	学習内容	指導上の留意点
1学期	中間	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	ヴェルサイユ体制・ワシントン体制、国際協調と軍備縮小 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ アジア・アフリカでの国家形成の動き 世界恐慌 国際協調体制の動揺	人類初の総力戦を経た戦後体制について学ぶ。 戦後アメリカの繁栄とヨーロッパの復興について学ぶ。 民族自決の不徹底と植民地支配再編について学ぶ 世界恐慌に至る過程とファシズムの台頭について学ぶ。
	期末	第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	第二次世界大戦の開戦と展開 戦後秩序構想と冷戦の形成 以降、冷戦時代の展開と、冷戦後の世界を概観	第二次世界大戦の展開とアジア・太平洋戦争の展開について学ぶ。 冷戦構造の形成と、その展開・国際関係についての変遷を理解する
2学期	中間	第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	農業と気候 古代オリエントとエーゲ海 南アジアの古代文明 東アジアにめばえた文明 古代オリエントの統一 古代ギリシアとヘレニズム世界	農耕と牧畜の影響について理解し、四大農耕文明の誕生、各古代文明の特徴や、文明内・文明間の交流について学ぶ。 各地域における王国から帝国への発展を学ぶ。 古代民主政治の成立について学ぶ。 オリエント文化とギリシア文化の融合について理解する。
	期末	第2章 西アジアと地中海周辺 第3章 南アジア 第4章 東南アジア	ローマ帝国と地中海世界 古代末期の社会と地中海世界の解体 地中海世界とアジア 南アジアにおける国家形成 インド世界の形成 海の道の形成と東南アジア 東南アジア諸国家の再編成	地中海帝国の成立と発展・その解体について学ぶ。 イラン高原におこった文明と東西に交流について学ぶ。 インドにおける新興宗教の成立や国家形成の変遷を学ぶ。 インドと中国を結ぶ東南アジアにおける港市国家・内陸国家について学ぶ。
3学期	学年末	第5章 東アジアと中央ユーラシア	古代帝国の誕生 中国の分裂と多様化 隋唐帝国と東アジア 草原地帯のトルコ化とイスラーム化	春秋戦国～秦漢～魏晋南北朝～隋唐時代について学び、中国の変遷について理解する。 中国に影響を与える北方民族について学ぶ。 ユーラシア大陸東部の草原地帯におけるトルコ民族の移動とイスラーム化について学ぶ。

年間指導目標	自然環境と生活とのかかわりを通して地理的な思考力を伸ばすとともに、図表などを読み取り、グローバル化した現代社会を考察する力も養う。また、レポート作成やプレゼンテーションにも取り組む。
使用教材	教科書:『新詳地理探究』(帝国書院) 地図帳:『新詳高等地図』(帝国書院) 資料集:『新詳地理資料』(帝国書院)

		単元(章)	学習内容	留意点
1 学期	中間	1章 現代世界の地理的考察	1. 朝鮮半島 2. サハラ以南アフリカ 3. アングロアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> 韓国と北朝鮮の歴史と文化を理解する。 韓国と北朝鮮の社会問題を考察する。 日本と朝鮮半島の関係を考察する。 アフリカの民族や宗教について理解する。 民族紛争の背景・原因となっている問題を考察する。 アフリカの経済発展の可能性を考察する。 移民国家としてのアメリカの社会を考察する。 アメリカ大統領選挙とアメリカ社会の現状について考察する。
	期末	1章 現代世界の地理的考察	3. アングロアメリカ 4. EU 諸国・ヨーロッパ 5. ロシア	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカの自然環境、産業、人々の生活・文化について理解を深める。 世界の食糧生産の鍵を握るアメリカの状況について考察する。 ヨーロッパの自然環境、産業、人々の生活・文化について理解を深める。 EU の成り立ちと結びつき、拡大について理解する。 ウクライナとロシア、EU の関係について地理的に考察する。 ロシアの自然環境、産業、人々の生活・文化について理解を深める。 ロシアの政治体制について考察する。
2 学期	中間	1章 現代世界の地理的考察	6. オセアニア 7. ラテンアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> オセアニアの自然環境、産業、人々の生活・文化について理解を深める。 オーストラリアとニュージーランドを比較して考察する。 中国の影響力拡大とアジア・太平洋圏の課題を考察する。 ラテンアメリカの自然環境、産業、人々の生活について理解を深める。 アマゾンの開発について考察する。
	期末	第2章 現代世界の系統地理的考察	1. 日本の課題 2. 地球的課題 レポート作成 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 日本の人口問題と消滅する可能性のある自治体の分布などについて理解する。 日本に住む外国人との共生について考察する。 地球的規模の課題について地理的な考察をする。 自ら探求する課題を見つけ、データや分布図などを含めたレポートを作成する。 聴き手にわかりやすいプレゼンテーションになるよう工夫する。

年間指導目標	自然地理と世界地誌をバランスよく学び、図表の読み取りなど地理的な思考力を身につけることを目標とする。また、共通テスト向けの演習問題等に取り組み、図表を中心とした出題に対応できる学力の育成にも取り組む。	
使用教材	教科書：『新地理総合』（帝国書院） 資料集：『新詳地理資料』（帝国書院）	地図帳：『新詳高等地図』（帝国書院） 副教材：『新地理総合ノート』（帝国書院）

		単元（章）	学習内容	指導上の留意点
1 学 期	中間	第1章 自然環境と生活	1. 世界の地形 2. 世界の気候	<ul style="list-style-type: none"> 分布図を作成し、地理的な理解を深める。 大地形、小地形について理解する。 大気の大循環について理解する。 ケッペンの気候区分について理解する。 地形図の読図に取り組む。 断面図の作成や等高線を読めるようにする。 演習問題に取り組む。
	期末	同上 第2章 世界の諸地域の生活・文化	2. 世界の気候 3. 日本の自然の特徴と人々の生活 1. ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然の特徴について理解する。 日本の自然災害について理解する。 各地域の生活・文化・産業について理解する。 各地域の人種・民族について理解する。 分布図を作成し、地理的な理解を深める。 演習問題に取り組む。
2 学 期	中間	第2章 世界の諸地域の生活・文化	2. 北アメリカ 3. 中南アメリカ 4. オセアニア 5. 中央アジア・西アフリカ・北アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の生活・文化・産業について理解する。 各地域の人種・民族について理解する。 分布図を作成し、地理的な理解を深める。 演習問題に取り組む。
	期末	同上 第3章 地球的課題	6. 南アジア 7. 東南アジア 8. 東アジア 9. アフリカ 1. 人口問題 2. 環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の生活・文化・産業について理解する。 分布図を作成し、地理的な理解を深める。 世界と日本の人口問題について理解する。 世界の環境・エネルギー問題について理解する。 演習問題に取り組む。

年間指導目標	江戸時代から明治・大正・昭和までを学習する。近世・近代国家の形成と社会や文化の特色について国際環境と関連付けて考察させ、現代の社会や国民生活の特色については世界の中での日本の立場について認識させる。日本史受験クラスであることを重視して、政治史を中心に経済史や外交史、文化史も扱い、歴史のとらえ方を意識しながら、自らの考えを持つ姿勢を培うことを目標とする。
使用教材	教科書：『詳説日本史～日本史探究～』（山川出版社） 図表：『新詳日本史』（浜島書店）

学期	時期	単元（章）	学習内容	指導上の留意点
1 学期	中間	第9章 幕藩体制の成立と展開 2 幕藩体制の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革	江戸幕府の成立、幕藩体制、幕府と藩の機構、朝廷と寺社、身分秩序、初期の外交、鎖国政策、長崎貿易、朝鮮と琉球・蝦夷地、寛永文化、元禄時代と正徳の治、諸産業の発展、元禄文化、享保の改革、	江戸幕府の成立過程と支配機構、鎖国の特徴と意義、江戸初期の文化の特徴、文治政治の特色と社会に及ぼした影響を学ぶ。
	期末	2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府発足 第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	宝暦天明期の文化、一揆と打ちこわし、田沼時代、寛政の改革、列強の接近、文化文政時代、大塩の乱、天保の改革、経済の近代化、日本の開国、尊王攘夷と討幕運動、統一国家の形成、廃藩置県、四民平等、地租改正、文明開化	江戸時代後半の各改革の違いを意識して学ぶ。外圧の展開と幕府のとした対外政策を整理する。江戸時代に発展した学問・思想を人物と共に理解する。江戸時代の滅亡過程を学ぶ。
2 学期	中間	2 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1 日清日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活変容と大衆文化	自由民権運動、松方財政と民衆運動、大日本帝国憲法の制定、初期議会、朝鮮問題、日清戦争と三国干渉、中国分割と日英同盟、日露戦争、産業革命、重工業と農業、社会運動の発生、明治文化、教育と科学、第一次世界大戦、朝鮮と中国の民族運動、社会運動と普選運動、護憲三派内閣の成立、都市化と国民生活の変化、学問と芸術	明治政府の新政策の展開を学ぶ。社会の変化と自由民権運動の展開について学ぶ。明治初期の外交と条約改正交渉、日清戦争に至る過程と、戦争の影響について理解する。日本の産業革命と経済変動をまとめ、資本主義の確立について学ぶ。 日露戦争と朝鮮侵略、第一次世界大戦参戦への動きを国際的視野でとらえながら学ぶ。 政党政治と大正デモクラシーの展開をまとめる。
	期末	第15章 恐慌と第二次大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 冷戦の開始と講和	戦後恐慌から金融恐慌へ、社会主義運動と積極外交への転換、金解禁と世界恐慌、協調外交の挫折、満州事変、政党内閣の崩壊と国際連盟脱退、恐慌からの脱出、二・二六事件、日中戦争、戦時下の文化、第二次世界大戦、太平洋戦争、国民生活の崩壊、占領と民主化、政党政治の復活、日本国憲法の制定、占領政策の転換、朝鮮戦争と日本、講和と安保条約、55年体制、安保闘争、高度経済成長	日中全面戦争と第二次世界大戦、アジア太平洋戦争、敗戦への過程をまとめる。 戦後の諸改革をまとめる。 冷戦の開始による日本の占領政策の転換と朝鮮戦争、講和条約と日米安保体制成立の意義・影響について理解する。 高度経済成長期から現代までの政治・経済の動きをまとめ、国民生活の変化と現代の課題について考える。

年間指導目標	高校2年次から継続してヨーロッパ世界における中世の様相と、近世の国家形成とその社会経済・文化・海外発展について学ぶ。また、イスラム世界、アジア世界の交流と再編について学ぶ。2学期後半には、高校1年次「歴史総合」の学習範囲と連結させ、第二次世界大戦後の冷戦構造の展開、その後のグローバル化と地球的課題について学習する。世界史受験クラスであることを重視して、各地域世界とその関係性から、現代の世界を認識し、自らの考えを持つ姿勢を培うことを目標とする。
使用教材	教科書：『世界史探究』（東京書籍） 図表：『グローバルワイド最新世界史図表』（第一学習社）

学期	時期	単元（章）	学習内容	指導上の留意点
1 学期	中間	第8章 中世ヨーロッパ	<ol style="list-style-type: none"> 1 中世ヨーロッパ社会の展開 2 中世ヨーロッパ社会の成熟 3 中世ヨーロッパの文化 4 中世ヨーロッパ社会の再編 5 ルネサンス 	フランク王国の分裂・カトリック教会の発展によって形成された西ヨーロッパ世界が封建社会が十字軍を契機として変化していく過程を学ぶ。
	期末	第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	<ol style="list-style-type: none"> 1 唐の崩壊後の東アジア 2 宋代の新展開 3 モンゴル帝国 4 元の成立 1 イスラームのインドとインド洋海域への浸透 2 海と陸の結合-東南アジア世界の発展 1 アジア交易圏の再編と活況 2 ポルトガルのアジア進出 3 明と日本・朝鮮の動向 4 一体化に向かう世界 5 大交易時代の世界 	唐宋変革期について理解する。遊牧騎馬民モンゴル民族の活動について学ぶ。 インド・東南アジアのイスラム化の過程について学ぶ。 イスラム・中国間の交易世界へのヨーロッパ人の進出について学ぶ。 中華帝国明の成立と東アジアの国際関係について学ぶ。 スペインの中南米、オランダのアジア進出が与える影響について考察する。
2 学期	中間	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	<ol style="list-style-type: none"> 1 中央アジアと西アジアの繁栄 2 インドの大国-ムガル帝国 3 清と東アジア 1 主権国家群の形成と宗教改革 2 オランダの繁栄と英仏の国家形成 3 商業覇権と植民地建設 4 啓蒙専制国家の発展 5 近世ヨーロッパの社会と文化 	中央アジア・西アジア・インドに長期的安定政権を築いたイスラム王朝、清帝国の繁栄について学ぶ。 宗教改革とその影響について理解する。絶対主義体制の確立と植民地抗争の展開を理解する。 17世紀のヨーロッパ文化について学ぶ。
	期末	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	<ol style="list-style-type: none"> 1 アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 2 帝国の解体と分断国家の形成 3 アジア諸国の独立と脱植民地化 4 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」 1 冷戦と政治・経済秩序 2 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 3 平和共存と社会主義圏の多極化 1 アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容 2 冷戦の変容と世界の諸地域 3 冷戦の終結とその後の世界 4 アメリカ合衆国の復調とグローバル化 1 グローバル化にともなう世界の変容 2 地球的諸課題 3 新たな秩序変容 	第二次世界大戦中から芽生えていた冷戦構造について理解し、戦後世界の展開について学ぶ。 ・戦後のアジア ・冷戦構造の確立 ・第三勢力の形成 ・平和共存と多極化 ・緊張緩和「と新冷戦 ・冷戦の終結 国家規模から、企業や個人を主体とする世界の一体化（グローバル化）について学び、グローバル化の進展による新たな課題について理解する。

年間指導目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	教科書:『詳述 政治・経済』(実教出版) 副教材『最新 政治経済資料集 2024』(第一学習社 クラウド版)

時期	分野・項目	内容
一学期中間	〈政治分野〉	
	単元・活動	第1部第1編現代日本の政治 第1章民主政治の基本原則 / 第2章日本国憲法の基本的性格
	学習内容	1 政治と法 / 2 民主政治と人権保障の発展 / 3 国民主権と民主主義の発展 / 4 世界の政治体制 / 1 日本国憲法の成立 / 2 平和主義 / 3 基本的人権の保障 / 4 人権の広がり
	指導上の留意点	政治とは何か理解し、実際に国家においてはどのように政治が行われているか理解させる。そのうえで各国の政治体制に触れ、日本国憲法に対する理解を深める。
	〈経済分野〉	
	単元・活動	第1部第2編現代日本の経済 第1章経済社会の変容 / 第1部第2編 現代日本の経済 第2章現代経済のしくみ
学習内容	経済活動の意義 / 1 市場機構 2 現代の企業 3 国民所得と経済成長 4 金融のしくみ	
指導上の留意点	現実の社会的出来事に触れ、市場機構や企業、近年の金融政策を理解させる。株式学習ゲーム(日本証券業協会提供)に参加し、実際の株価の動きを観察することを通じて、市場メカニズムや企業に対する理解を深める。	
一学期期末	〈政治分野〉	
	単元・活動	第1部第3章日本の政治機構 / 第4章現代日本の政治
	学習内容	1 立法 / 2 行政 / 3 司法 / 4 地方自治 / 1 戦後政治の歩み / 2 選挙制度 / 3 政治参加と世論
	指導上の留意点	日本の政治における三権分立について理解させ、地方自治における国政との違いについて理解を深める。また、日本の政党政治の特徴、選挙制度、市民が政治に関わる事についてどのような課題があるか理解させる。
	〈経済分野〉	
	単元・活動	第1部第2編現代日本の経済 第2章現代経済のしくみ / 第1部第2編現代日本の経済 第3章現代経済と福祉の向上 / 第2部 第2章現代の国際経済
学習内容	5 財政のしくみ / 6 社会保障の役割 / 1 商品・資本の流れと国際収支 2 国際経済体制の変化 4 地域経済統合と新興国の台頭	
指導上の留意点	財政と社会保障を同時期に学ぶことで日本社会の抱える問題を理解させる。継続して株式学習ゲーム(日本証券業協会提供)に取り組み、実際の株価の動きを観察することを通じて、国際経済に対する理解を深める。	
二学期中間	〈政治分野〉	
	単元・活動	第2部グローバル化する国際社会の諸課題第1章現代の国際政治
	学習内容	1 国際政治の特質と国際法 / 2 交際連合と国際協力 / 3 現代国際政治の動向
	指導上の留意点	国際社会における主権国家と紛争について理解を深める。そのうえで二度の世界大戦を経て成立した国際連合の抱える課題、冷戦前後の国際社会について理解する。
	〈経済分野〉	
	単元・活動	第1部第2編現代日本の経済 第3章現代経済と福祉の向上 / 第2部 第2章現代の国際経済
学習内容	1 経済の停滞と再生 2 日本の中小企業と農業 / 3 グローバル化と世界金融	
指導上の留意点	戦後日本経済の成長と停滞について、国際社会の動向に触れながら理解させる。	

時期	分野・項目	内容
二 学 期 期 末	〈政治分野〉	
	単元・活動	第2部グローバル化する国際社会の諸課題第2部第1章現代の国際政治
	学習内容	4 核兵器と軍縮／5 国際紛争と難民／6 国際政治と日本
	指導上の留意点	軍事的にも政治的にも大きな意味を持つ核兵器及び通常兵器の在り方について理解を深めさせる。そのうえで、第二次世界大戦後の国際紛争、戦後日本の外交関係について理解を深めさせる。
	〈経済分野〉	
	単元・活動	第1部第2編現代日本の経済 第1章経済社会の変容 / 第1部第2編現代日本の経済 第3章現代経済と福祉の向上 / 第2部 第2章現代の国際経済
学習内容	2 経済社会の形成と変容 / 3 国民の暮らし 4 環境保全と公害防止 5 労使関係と労働条件の改善 / 5 地球環境とエネルギー 6 経済協力と人間開発の課題	
指導上の留意点	現代経済の諸課題について理解させる。 各自が問題意識をもとに問いを設定し、情報収集と発表を通じて問題解決能力を養う。	

年間指導目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	教科書：『政治・経済』（東京書籍） 副教材『最新 政治経済資料集 2024』（第一学習社、クラウド版）

時期	分野・項目	内容
一学期中間	単元・活動	第1編第2章現代日本の経済 1節現代の資本主義経済 2節現代経済のしくみ
	学習内容	1 経済活動の意義 2 資本主義経済の発展と変容 / 1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業 3 市場経済の機能と限界 4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと機能
	指導上の留意点	ニュースに触れる機会を設けて、社会的関心を養う。株式学習ゲーム(日本証券業協会提供)に参加し、実際の株価の動きを観察することを通じて、市場メカニズムや企業に対する理解を深める。
一学期期末	単元・活動	第1編第2章現代日本の経済 2節現代経済のしくみ 4節福祉社会と日本経済の課題 / 第2編第2章現代の国際経済 1節国民経済と国際経済
	学習内容	5 財政のしくみと機能 / 7 社会保障と福祉 / 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開
	指導上の留意点	財政と社会保障を同時期に学ぶことで日本社会の抱える問題を理解させる。 継続して株式学習ゲーム(日本証券業協会提供)に取り組み、実際の株価の動きを観察することを通じて、国際経済に対する理解を深める。 様々な学問分野の学びを通じて、進路選択について熟考させる。
二学期中間	単元・活動	第1編第1章現代日本の政治 1節民主政治の基本原則 4節 現代政治の特質と課題 / 第1編第2章現代日本の経済 2節現代経済のしくみ
	学習内容	1 民主政治の成立 法と民主政治 4 現代の民主政治 / 1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加 / 1 戦後日本経済の発展 2 日本経済の現状
	指導上の留意点	成人を迎えた生徒もいる中で、改めて政治参加・投票の意義を理解させる。 政党史と戦後日本経済史を同時に扱うことで戦後日本の状況を理解させる。
二学期期末	単元・活動	第2編第1章 2節複雑化する国際政治と日本 / 第2章現代の国際経済 2節世界経済の現状と課題
	学習内容	6 国際社会における日本の役割 / 2 地球環境問題 3 資源エネルギー問題 4 人口・貧困・感染症
	指導上の留意点	国際社会における日本の果たすべき役割を理解させる。 各自が問題意識をもとに問いを設定し、情報収集と発表を通じて問題解決能力を養う。